

1 日 時；平成26年7月3日（木） 第4限 小学5年（男子2名，女子3名）

2 単元名（教材名）；「敬語」

3 本時の目標

- ・ 日常の言葉遣いに関心をもち、敬語や「丁寧語」「尊敬語」「謙讓語」について考えることができる。

4 評価規準

- ・ 相手や場面による表現の違いについて考え、発表しようとしている。【関心・意欲・態度】
- ・ 敬語や「丁寧語」「尊敬語」「謙讓語」について理解し使い方を考えている。【言語（1）イ（ク）】

5 UDの視点

- ・ 日常の場面をとらえて、敬語の必要性について気づかせる。（シンプルS）
- ・ 短文カードを提示したり、役割演技をしたりする。（ビジュアルV）
- ・ ペアで役割演技やふり返りの交流をする。（シェアH）

6 本時の展開

児童の学習活動	・ 指導上の留意点◇評価☆個への配慮（★UDの視点）
① 敬語の必要な場面について考え、課題をもつ。	・ 言葉遣いのおかしいところに気づかせ、敬語に関心をもたせる。 ★日常の場面から問題を見つける。（S）
② 「行く」などの言葉を使って役割演技をする。	★目上の人（校長先生）と自分、身内（兄・姉）などの役を決めて身近な会話で演技させる。（S・V） ★ペアで役割演技させる。（H） ☆みんながそれぞれペアを組めるようにする。 ★短文カードを提示し、色分けすることでちがいに気づかせる。（V） ◇日常の言葉遣いに関心をもち、発表したり役割演技したりしている。【関心・意欲・態度】
③ ア「ていねい語」イ「尊敬語」ウ「けんじょう語」について、それぞれの意味と使い方をまとめる。 ・ ア相手（大勢の人やあまり親しくない人）に対する敬意を表す。 「わたしが言います。」 ・ イ相手や話題になっている人を敬う気持ちを表す。 「校長先生が来られます。」 「お客様がいらっしゃいます。」 ・ ウ自分や身内の者の動作を謙そんして言う。（受ける人への敬意を表す。） 「姉がうかがいます。」	・ 役割演技した言葉を整理し、「ていねい語」「尊敬語」「けんじょう語」を使う場面について気づかせる。 ★色分けしたものを整理することで、相手や場面を意識させる。（V） ◇敬語と3つの用語の意味を知り、使い方を考えている。【言語（1）イ（ク）】
④ ふり返りをし、次時のめあてをもつ。	★敬語について気づいたことをペアで話し合わせる。（H） ・ もっと調べたい言葉「いただきます」などに気づかせ、次時への意欲をもたせる。

【授業風景】

